



子どもが言うことを聞かないと思つたとき、子どもに対してどんな言葉をかけているか、ふり返つて見ましょう。大人が自然に使っている言葉の中には、子どもに伝わりにくい言葉が意外に多く、耳に入ったとしても理解できていないことがあります。つまり「言うことを聞かない」のではなく「わからない」のかもしれないのです。

指示語

「それ取って」「これ片づけて」など「これ」「それ」「あれ」といった言葉は、わかりにくい。「おもちゃを箱に入れて」「お皿を取って」など目的語を具体的に言います。「車のおもちゃ」など、より細かく説明するとよいでしょう。

抽象的な言葉

「大切に使う」「なかよくしなさい」など、抽象的な言葉はわかりにくい。「本は破らない」など、具体的に伝えます。ただ、このような抽象的な言葉も、少しずつわかるように伝えていく必要

言葉の省略

「早くしなさい」といった言葉は、目的語が省略されているため、何を早くどうするのか、わかりにくい。「ごはんを早く食べよう」など、何をするのか省略せず具体的に言います。「早く」「ゆっくりに」「少し」「たくさん」などの程度を表す言葉も伝わりにくいことがあるので、数字で示したり、分量が目でわかるなどの工夫も考えるとよいでしょう。

本当の思いとギャップがある言葉

「勝手にしなさい」と言われたので、本当に勝手にすると怒られる。本当にしてほしいことを「〇〇してね」とシンプルに伝えます。状況を把握して相手の思いを察することができるようになると「人は感情的になると『勝手にしろ』と言うが本心ではない」と理解できるようになります。

※言葉どおりのことはわかっていても、相手の裏の思いを察することが苦手な子どももいるので、注意が必要です。



「青少年健全育成標語」

を募集します

11月は「全国青少年健全育成推進月間」です。

市では「青少年健全育成推進大会」を11月13日(木)に開催します。

そこで、青少年の健全育成のための「標語」を募集します。

応募方法

ハガキまたはハガキ大の用紙に作品1点を記載してください。

※本人が創作した未投稿の作品に限ります。

※一人3点までとします。

対象

成人一般、高校生、中学生(1・2年生)、小学生(5・6年生)

提出先

青少年育成部留市民会議事務局(文化会館内)または学びのまちづくり課

※小・中学生・高校生は学校に提出してください。

応募締切 9月26日(金)

表彰

成人・高校生・中学生・小学生の4部門に分け、各部門ごとに、最優秀1点、優秀3点を11月開催の「推進大会」で表彰します。

主催 市青少年総合対策本部、青少年育成部留市民会議

問合せ先

中央公民館(文化会館内)
☎(43)1451

学びのまちづくり課 生涯学習担当

赤い羽根共同募金にご協力を

今年も10月1日(水)から12月31日(水)まで共同募金運動が行われます。市民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

厳しい景気低迷が続く中、NPO法人やボランティア団体のように、住民が主体的に社会福祉の課題に取り組む試みが増え、民間社会福祉活動が新たな発展の時期を迎えています。このような民間社会福祉活動を実現するため、共同募金運動は財政面から支援することを目的として実施されています。

☆共同募金運動(実施予定)

- 10月1日 街頭募金
- 10月1日 戸別募金
- 10月中旬 大口募金(企業・団体)
- 12月1日 歳末たすけあい募金

☆平成19年度に配分された主な内容

- ゲートボール場簡易トイレ設置(古渡)
- 保育園、幼稚園へ遊具を助成
- 給食サービス、いきいきサロン
- 遊び場フェンス設置(下大幡)
- ボランティアまつりの開催
- 小・中・高校生のボランティア活動
- 老人ゲートボール大会、障害者スポーツ大会開催
- 市内結婚50年、60年世帯へ記念写真などの贈呈
- 社会福祉協議会広報誌の発行
- 地域福祉活動車両の整備

問合せ先

県共同募金会都留市支会(市社会福祉協議会内)
☎(46)5115